



多彩なキャリア支援行事

11月4日、国際文化学部のアさんは

自学部が昼休みに開催する先輩内定者たちの就活体験発表を聴く。その後別のキャンパスに移動、キャリアセンター主催の国家公務員官庁業務説明会に参加、その合間に、法・経済・経営学部のゼミ幹事の連絡組織である六甲台学生評議会主催の「業界セミナー」にも顔を出す。翌5日は、キャリアセンター担当の全学キャリア科目（職業と学びーキャリアデザインを考える）を聴講する。この日は「マルチ主婦の実践ー食と農で起業！ NPO法人の設立と運営」と題する卒業生講師の話で大いに元気をもらった。それが終わってから、工学部同窓会主催の「業界研究ー化学・バイオ系」で関心ある企業の人事担当者の話を聴く。翌6日は、発達科学部で開催された「自己分析の進め方」を聴き、その後はまた、この日も開催されている六甲台学生評議会の「業界セミナー」に参加した。

以上、たまたま2009年11月初旬のキャリアイベントカレンダーから、一人の学生のスケジュールのかたちで学内の各種関連行事を抜き出してみたものである。なお、そのイベントカレンダーに掲載されたものを数えてみたが、学内各就活支援組織が開催する行事は昨年11月だけで、じつに36回もあった。

ネットワーク型

こうしたことが可能なのも、神戸大

学のキャリア支援がネットワーク型で展開しているからである。このような神戸大学の就職支援のあり方は、ボトムから、しかも数人の学生たちの就活に対する危機感から始まった。学生による就職活動支援組織「Job's」の発足である。これがキッカケとなり、学生部厚生課（当時）や大学生協、そして2学部の就職委員会を含むさまざまな就職支援ネットワークが立ち上がった。02年の秋のことだ。このネットワークの特色は、教員、職員、学生、生協職員、同窓生等の身分を問わず互いにフラットな関係を保ち、学生のキャリア支援向上という目的のために、各々自発的に活動しながらも緩やかに連携・協働するということにある。

年ごとにネットワークがメンバーを加えながら発展を遂げるなか、07年6月、神戸大学にもキャリアセンターが誕生した。こちらはもろろんトップの判断から生まれたが、このキャリアセンターによって、それまで要にあたる組織を持たなかったネットワークは、情報共有の拠点となるハブ組織を持つことになった。キャリアセンターはそれ自体決して強力な中央組織ではないが、自主的に活動を行う学内各組織と連携協力のネットワークを構築しながら、神戸大学全体としては、すでに述

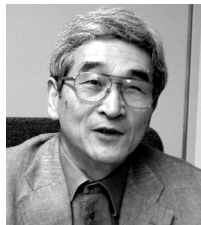
べたように、かなり活発にキャリア・就職イベントや各種支援活動を展開しているといつてよい。

ネットワークを形成する学内各組

織は、キャリアセンター、各学部・研究科の就職委員会、各同窓会、大学生協、六甲台就職情報センター、学生団体、東京オフィス、留学生センター、学生ボランティア支援室、連携創造本部などである。なかでも、大学生協キャリア支援チームとの緊密な連携協力は見逃せない。ちなみに、08年度の場合、キャリアセンターの主催行事数は約25回だったが、神戸大学全体では約170回に達した。

進化するキャリアセンター

他大学と比べれば弱小組織にすぎないが、ネットワークの拡大とともに、学内各組織との連携協力を得ながら、キャリアセンター自身も年々進化している。支援範囲も、当初は主に学部3年生だけだったが、すぐに1、2年生対象ガイダンスも実施、やがて留学生センターと協力して日本企業に就職を希望する外国人留学生のために合同企業セミナーを開催、昨年は大学院生対象のキャリアガイダンスにも取り組んだ。また、個人相談のニーズの高まりを受けて、09年度からキャリアアドバイザー（非常勤）の増員も図った。全学キャリア科目についても、10年度から1科目新規開講する。



神戸大学キャリアセンター長
国際文化学研究科 教授

内田 正博

熊本県立大学のキャリア支援



熊本県立大学キャリアセンター長
文学部日本語日本文学科長・教授

山崎 健司



熊本県立大学

熊本県立大学は、「大学は『未来のわたし』を創る場所」との理念を掲げ、キャリアデザイン教育と就職活動等の支援とを体系化した取り組みを推進しています。その特徴の一つは、自らがキャリア意識を高めていくツールとしてポートフォリオ（熊本県立大学では「キャリアアフォリオ（Career Folio）」と呼ぶ）を導入しているところです。キャリアアフォリオの全学生への普及などにもセンターは取り組んでいます。

センターの運営体制

キャリアセンターは、キャリアデザイン教育と従来の就職支援とを有機的に接続し、学生への総合的なキャリアサポートを提供する組織として平成21年4月に発足しました。現在、下記メンバーで運営しています。このメンバーによるキャリアセンター運営会議を定期的に開催しており、その場で大学のキャリアデザイン教育とキャリアサポートとが同時に議論され企画・立案されています。

- ・センター長
- ・キャリアコーディネーター
- 各学部のキャリアデザイン教育を担当する教員（3名）
- 各学部のキャリアサポートを担当する教員（3名）
- ・センター職員と就職アドバイザー

この他に、学生アドバイザー（「キャンパス・キャリアエンジェル（Campus Career Angel: CCA）」と呼ぶ）制度も導入し、センター内で学生目線での学生サポートを行っています。さらに、Webサイト（<http://puk.cip.pc/>）により、タイムリーに



キャリアセンターでのCCAによる相談活動

センターの具体的取り組み

① キャリアデザイン教育システムの企画と立案

キャリアデザイン教育に関しては、キャリア形成論（1年次必修）の内容を企画しています。平成21年度は「大学での学びとキャリア」をテーマに初年次教育に関するシンポジウムもセンター主催で実施しました。さらには、キャリアデザイン教育に関する教職員研修もセンターが企画・実施しています。

本学では学外での活動もキャリアデザイン教育にとって重要であると強く認識しています。このためにインターンシップには従来から積極的に取り組んできました。現在、全国でも8位の参加率を誇るまでになり（大学ランキング2010（朝日新聞社発行）による）、終了後は、企業関係者を招き学生たちによるインターンシップ報告会を公開で開催しています。

② キャリアアフォリオ（CF）の全学的普及

学生が入学時から卒業後の自分を思い描き、その実現のためにどのような知識を習得し、また経験を積むべきかを考えていくためのツールとしてCFを位置付け、全学的に導入しています。センターとボランティアの学生団体との協働の体制を構築し、その中で学生目線に立つCFの改良に継続的に取り組んでいます。CFの広報活動はこれらの学生たちの手によって行われています。

③ 就職支援
就職支援セミナーの開催、資格取得講座の運営等の業務を担当するとともに、全教員との連携を密にして学生の進路動向の把握に努めています。

学生向けの就職支援情報は、前述したWebサイトから随時提供することにも、就職情報検索Webを開設し、本学に寄せられた求人情報及び企業情報、学内セミナーの情報等をインターネットまたは携帯で検索閲覧できるようにしています。

学生への個別支援は教員による3年次個別面談やキャリアセンターのアドバイザー制度によって対応しています。が、今後は卒業したCCAとの連携を深め、さらに一般の卒業生と在学生との間のネットワークを構築し、在学生への就職支援につなげることも計画しています。



キャリア形成論授業風景